

# 組織の目標設定シート(行政経営Aシート)

組織	財政課
職	課長
氏名	松本 博樹

<b>組織の使命・役割</b>	<b>何のために我が組織が存在するのか、我が組織が果たすべき使命・役割は何か</b>
税・交付税等の歳入の状況、県民のニーズ、将来の財政の見通し等を踏まえ、各部局と連携の下、毎年度の予算を編成し、また、予算の効率的・効果的な執行に努める。	



<b>組織の目標</b>	<b>使命・役割を果たす上で、我が組織が目指すゴール(成果)は何か、その目標値はどのような水準か</b>			
<b>(定性的目標)</b>	<b>何をどのような状態にしたいか</b>			
・楽観できない財政状況の中、行財政改革の取り組みをさらに拡充・強化し、自立かつ持続可能な財政基盤の確立に努める一方、ハードからソフトへの転換、選択と集中による施策の重点化を推進し、これまで以上に社会情勢の変化や県民ニーズに的確に対応するための施策に重点を置き、新たな長期構想の9つの重点戦略を着実に具現化していく予算の編成・執行に努める。 ・税収や税外収入など歳入の確保に積極的に取り組むほか、内部管理事務の集約化等の一般行政経費の縮減に引き続き取り組むとともに、財政運営の工夫による負担の平準化を図るなど、歳出全般についても見直しを行う。				
<b>(定量的目標)</b>	<b>具体的な指標、目標値を設定する</b>			
<b>目標とする成果指標</b>	<b>現行値</b>	<b>年(度)</b>	<b>目標値</b>	<b>年(度)</b>
<b>目標値の設定根拠(他県との比較など)</b>				
基金(財政調整基金等)残高	約510億円	R3	取り崩しを極力抑制	行政経営プログラム2020
県債(臨時財政対策債等を除く)残高	約7,968億円	R3	前年度以下に抑制	行政経営プログラム2020



<b>令和4年度に重点的に取り組むべき課題</b>	<b>左記の具体的な内容を記載する</b>
基金の取り崩しに頼らない持続可能な財政基盤の確立	総人件費の適正管理、一般行政経費の見直し、公営事業の見直し
県債残高の抑制	投資的経費の抑制、公債費負担の平準化